

## 講義録レポート

講義録コード

03-22-4-02-[ 4 ] - [ 0 ] [ 3 ]

講座	税理士	科目	財務諸表論
目標年	2022年合格目標	テキスト	No. ( 4 )
コース	基礎マスター	回数	第 ( 3 ) 回
用途	ビデオブース WEB通信 ・ DVD通信 ・ Webフォロー ・ 音声DLフォロー		

収録日	2021 年 11 月 8 日		
講師名	的場 宏大 先生	板書	3 枚 ※レポート含まず (名称/該当教材)
		その他	2 枚 補助レジュメ (名称/該当教材)
			枚

授業構成	講義 ミニテストの解説 研究開発基準	⇒	講義 研究開発基準 (ソフトウェア含む) 退職給付基準	⇒	講義 退職給付基準
------	--------------------------	---	--------------------------------------	---	--------------

実施テスト	【 ● 】ミニテスト	テキストNo.( 4 )第( 3 )回	テストでの正誤
	【 】実力テスト		
	【 】その他 ( )		【 】あり 【 ● 】なし
	【 】なし		【 】問題
	実施時間 ( 10 ) 分		【 】解答用紙
			【 】解答解説

使用教材	【 】基本テキスト No.( )	該当ページはテキスト内の コントロールタワーをご覧ください
	【 】トレーニング No.( )	【 ● 】理論テキスト
	【 】ポイントチェック	【 】その他( )

配布教材	【 】基本テキスト No.( )	【 】ポイントチェック
	【 】トレーニング No.( )	【 】理論テキスト
	【 】トレーニングシート No.( )	
	【 】テスト帳合レジュメ <<講義録添付なし>> ( )	
	【 】別途配布レジュメ <<講義録添付あり>> ( )	
	【 】その他 ( )	

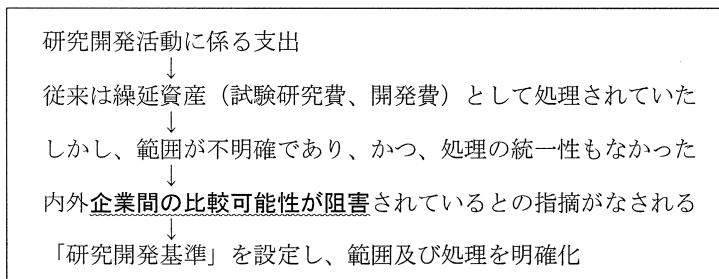
備考	*ビデオブースにてご視聴の方へ 正確な講義時間につきましては、DVDケースの背表紙下に記載されていますので適宜ご確認下さい。 (例) ①51 記載の場合、前半講義 51分 (答練・演習の場合は、解説もしくは事前講義 51分を表します)

補助レジュメ：No.4－3

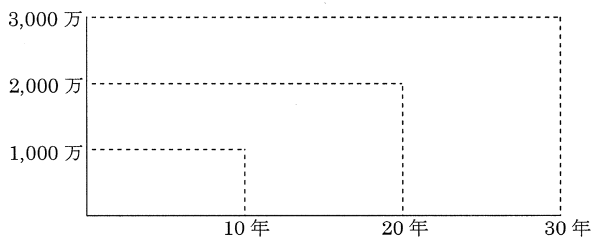
◎ 研究開発費の具体例（実務指針）

- (1) 従来にはない製品、サービスに関する発想を導き出すための調査・探求
- (2) 新しい知識の調査・探求の結果を受け、製品化又は業務化等を行うための活動
- (3) 従来の製品に比較して著しい違いを作り出す製造方法の具体化
- (4) 従来と異なる原材料の使用法又は部品の製造方法の具体化
- (5) 既存の製品、部品に係る従来と異なる使用法の具体化
- (6) 工具、治具、金型等について、従来と異なる使用法の具体化
- (7) 新製品の試作品の設計・製作及び実験
- (8) 商業生産化するために行うパイロットプラントの設計、建設等の計画
- (9) 取得した特許を基にして販売可能な製品を製造するための技術的活動

◎ 「研究開発基準」設定の背景

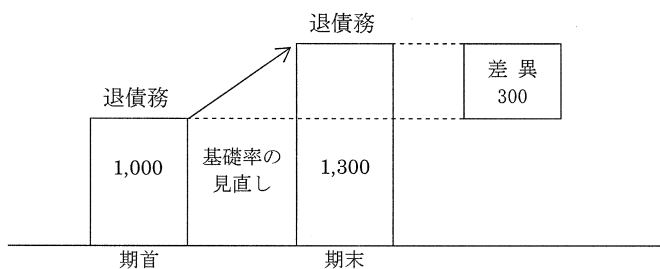


◎ 退職給付の期間帰属



補助レジュメ：No.4-3

◎ 数理計算上の差異の遅延認識



税 理 士 講 義 録	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.4 第3回
-------------	--------	-----	-------	-----	-----------------

配布物	★テスト類： [ ]	講 師	的 場
	★その他の配布物1： [ ]		
	★その他の配布物2： [ ]		先生

黒 板 内 容

キーワード

従来にはない + 製品  
 新しい モノ

(1)  (2)

②「基準」設定の背景(P.215)

研究開発に係る支出



従来は、繰延資産(試験研究費、開発費)として処理



しかし、範囲が不明確かつ処理の統一性なし



内外企業間の比較可能性が阻害



「基準」を設定し、範囲及び処理の明確化

税 理 士 講 義 録	コース講義等	基礎マスター	科目	財務諸表論	回数	テキストNo.4 第3回
-------------	--------	--------	----	-------	----	-----------------

配布物	★テスト類 : [ ]	講師	講 場
	★その他の配布物1 : [ ]		
	★その他の配布物2 : [ ]		先生

黒 板 内 容

Ver 0 → 1 (特有)の事象

- (1) 年金 ①
- (2) 支出の事実 差異 ②
- (3) ~考え方
- (4)

引当金... 未費消・未支出

退引... (既)費消・未支出

未払費用では?

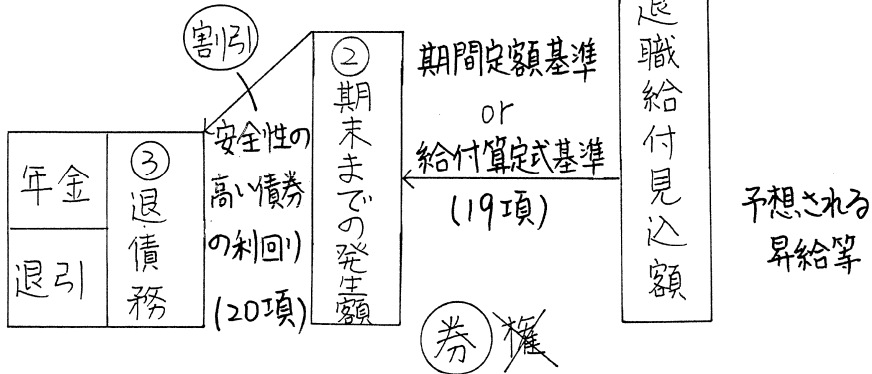
給与

退引は時期や金額に

不確実性があり未払費用とは区別すべき

リスクフリーレート  
無リスクの利率

変動要因  
を考慮する  
(18項)

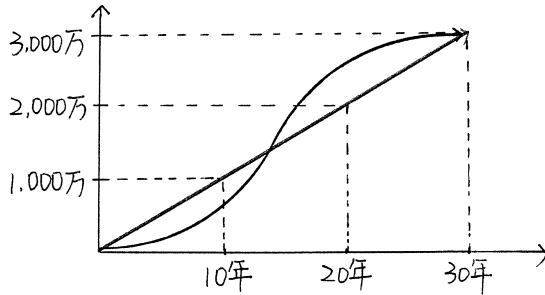


税 理 士 講 義 録	コース講義等	基礎マスター	科目	財務諸表論	回数	テキストNo.4 第3回
-------------	--------	--------	----	-------	----	-----------------

配布物	★テスト類： [ ]	講師	的場 先生
	★その他の配布物1： [ ]		
	★その他の配布物2： [ ]		

黒 板 内 容

①退職給付の期間帰属 (P.227)

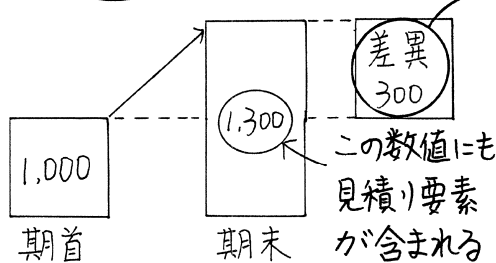


問題あり

— … 期間定額基準  
 — … 給付算定式基準

費 30 / 退 30

退 300



一時に費用処理  
 ↓  
 債務の状態が忠実に表現されない